

デジタルレベルチェッカー HDLC1 追加機能について

ご使用になる前に、必ずお読みください

製品向上のため、デジタルレベルチェッカーに搭載しているソフトウェアの仕様を変更しました。

追加機能の内容は、Ver.1.11以降で対応しています。

Ver.1.00以前を使用している場合、バージョンアップを行なってください。

ソフトウェアバージョンの更新については、下記にお問合せください。

お客様窓口：(03) 3893-5243

本器のバージョン確認方法は、**HDLC1**取扱説明書(詳細編)p.47「バージョン表示」をご覧ください。

変更内容

スペクトラム表示のCSV形式保存の追加

スペクトラム表示のCSV形式保存の追加

スペクトラム表示をデータ保存する際、BMP形式とCSV形式で保存することができます。保存したデータは、受信障害予測計算・調査報告書作成システム「ビルエキスパート*Ver.7」で使用することができます。

ビルエキスパートVer.7は、一般社団法人 日本CATV技術協会の製品です。

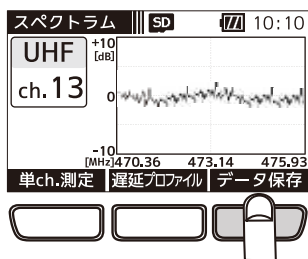
詳しくは、一般社団法人 日本CATV技術協会のホームページをご覧ください。

①UHFのスペクトラム表示画面にします。

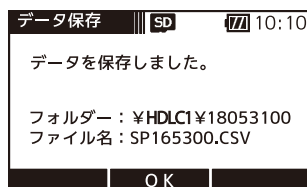
表示方法は、**HDLC1**取扱説明書(基本編)p.11をご覧ください。

②スペクトラム表示画面で「データ保存」下のファンクションボタンを押すと、測定データをBMP形式とCSV形式で保存することができます。

スペクトラム表示画面



データ保存完了画面



保存したCSV形式のファイルについて

- ユーザー設定の「SDカードメニュー」のファイル選択画面に、CSV形式で保存されたファイル名は表示されますが、本器で開くことはできません。ファイル選択画面の表示方法は、**HDLC1**取扱説明書(基本編)p.18をご覧ください。
- データを確認する際は、USBケーブルで本器とパソコンを接続し、パソコンでデータを開いてください。パソコンと本器の接続方法は、**HDLC1**取扱説明書(詳細編)p.49、50をご覧ください。

*ビルエキスパートは一般財団法人 NHKエンジニアリングシステムの登録商標です。